

平成25年久山町議会9月定例会一般質問通告書

平成25年8月28日 NO. 1

| 議員番号・議員名 | 質問事項 | 質問の要旨 |
|----------|-------------------------------------|---|
| 6番 佐伯勝宣 | 1. 認知症サポーター養成の取り組み | <p>①以前議会において、多くの人に認知症を理解してもらう機会を増やしていくと町長は答えたが、その後町としての動きはどうか。また、現在のサポーターの数は。</p> <p>②他の自治体には小学校高学年から認知症に対する理解を深める教育を行っている地域がある。議会にて、我が町での実施は状況を調べた上検討する旨の答えだったが、どう考えるのか。</p> |
| | <p>②・・・教育長</p> <p>2. 町の情報発信と活性化</p> | <p>①本年度、町のホームページがリニューアルし、フェイスブックも立ち上がった。反響はどうか。また、ホームページやフェイスブックを使った今後の活用をどう考えるか。</p> <p>②フェイスブックの活用に積極的な地域で、内外への情報発信として「ワールドカフェ方式」と呼ばれる意見交換会を行う自治体・市民団体が増えてきている。通常の対話集会より斬新で、住民参加型の意見交換との場として有効な手段と考える。糟屋郡内でも志免町(市民大学主宰)・宇美町が取り組みを始めた。久山町でも町の活性化をテーマに、町主体で開催を検討してみてもどうか。</p> |
| 7番 佐伯國廣 | 1. 財政運営について | <p>本年度、土地開発公社を解散することに伴い12億9千万円の起債を起こした。小中学校の大規模改修や久保橋建設を行っている現状で、道の駅が計画されているが、財政的によいか。</p> |
| | 2. 町民との対話について | <p>まちづくりの基本は、地区集会等で町民の意見を聞き、町民との対話によって強く明るいまちづくりができると思いますが、いかがですか。</p> |
| 9番 本田光 | 1. 町指定ごみ袋料金とごみ処理問題について | <p>①久山町のごみ袋料金、一般可燃指定ごみ袋1枚の販売価格(大)105円、(小)70円は、全県的に見ても異常に高い。本来、税金で賄うべきごみ収集手数料をごみ袋代として徴収すること自体、税金の二重取りではないかと言われている。党、久山支部が、町民アンケート調査を実施したところ、ごみ行政の項で可燃ごみ袋料金の値下げ要望が98%にもなっている。従って、近隣自治体の2倍もの高いごみ袋価格を、せめて近隣自治体並みに引き下げてはどうか。</p> <p>②消費税増税で来年8%、再来年10%になった場合、1枚105円の袋が108円、110円となるがどうするのか。6月議会での質問に対して町長は、そのとき検討したいし、他町より高く設定している。なので、そのときに考慮するのも一つの方法かなと思うと曖昧な答弁。そのとき考慮とは何か。改めて問う。</p> <p>③一般可燃ごみを削減しようという住民意識は高まってきている。更に住民がごみになるものは買わない・出さない。という意識改革、自治体への協力が欠かせない。また、事業系ごみ排出への指導徹底強化も必要ではないのか。</p> |

平成25年久山町議会9月定例会一般質問通告書

平成25年8月28日 NO. 2

| 議員番号・議員名 | 質問事項 | 質問の要旨 |
|-------------|---|--|
| 9 番 本 田 光 | 2. 久山中学校の給食問題について | <p>①学校給食法の第1条(目的)、第2条(目標)と食育基本法の第1条(目的)を、町長はどのように捉えているのか。</p> <p>②現在、最優先事業として、久山中学校大規模改修工事(第1期)が行われている。一方、久山中学校の給食実現も重要課題の一つである。中学校給食については(議会だよりNO.47)平成24年9月議会・第一委員会の最終報告をまとめ、その中で、自校方式「ランチルーム方式」が望ましいと述べている。久山中学校で完全自校方式給食を取り入れるとした場合、その時期は、おおかたいつ頃を想定されているのか。</p> |
| 5 番 吉 村 雅 明 | <p>1. 久山の農業発展と道の駅(農産物直販所)との係わりは</p> <p>2. 猪野・草場地区の住宅開発の動向について</p> <p>3. 県道、猪野土井線「参道整備」のその後の動向について</p> | <p>道の駅の完成予定は、平成27年から29年に延期になったと聞いた。久山の農業発展に繋がるような地元農産物の直販所形態にはせず、JAとの繋がりもないとも聞いている。一体どのような形態の道の駅(直販所)を町長は考えられているのか。</p> <p>町の人口増対策として、猪野・草場地区の住宅開発は避けては通れない課題と言える。町長は今までも両地区の住宅開発には力を入れていきたい。と再三言われてきた。本年度、草場地区には300万円の関連調査委託料が計上されたが、猪野地区は本年度何も示されなかった。両地区の今後の住宅開発動向等をお聞きしたい。</p> <p>昨年の8月1日に、町の担当者と猪野区との打ち合わせを行った中で「歩道の幅員や参道のグレードアップ、景観のまちづくり」の話が具体的に示された。その後1年以上何の説明もないままである。県の事業であるため、大変難しいとは思いますが、その後の経過等をお聞きしたい。</p> |